

全国中小企業動向調査結果

(2016年1-3月期実績、4-6月期以降見通し)

小企業の景況

(原則従業員20人未満)

小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

(前回)先行き懸念はみられるものの、持ち直しの動きが続いている

- 業況判断DIは、マイナス幅が拡大し、▲30.9となった。
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、マイナス幅が拡大し、▲24.4となった。
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、マイナス幅が拡大し、▲17.3となった。
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 11ページ

■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲30.9(-6.7)	▲24.4(-4.8)	▲17.3(-8.9)	▲24.4(-4.9)	▲4.6(+2.0)

中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

中小企業の景況は、弱い動きはみられるものの、
緩やかに回復している

(前回)緩やかに回復している

- 業況判断DIは、4期ぶりに低下し、▲2.6となった。
来期以降は上昇する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、2期連続で低下し、0.8となった。
来期以降は上昇する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、4期ぶりに低下し、▲2.9となった。
来期以降は上昇する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
▲2.6(-7.5)	0.8(-4.7)	▲2.9(-4.0)	6.0(-1.8)	17.6(+1.5)

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:桑本、藤井)
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:山口、神谷)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

目次

調査結果の概要	1
---------	---

【小企業編】

概況	3
調査の実施要領	4
業況判断	5
売上	10
採算	11
資金繰り、借入	12
経営上の問題点	13
設備投資、価格動向	14

【中小企業編】

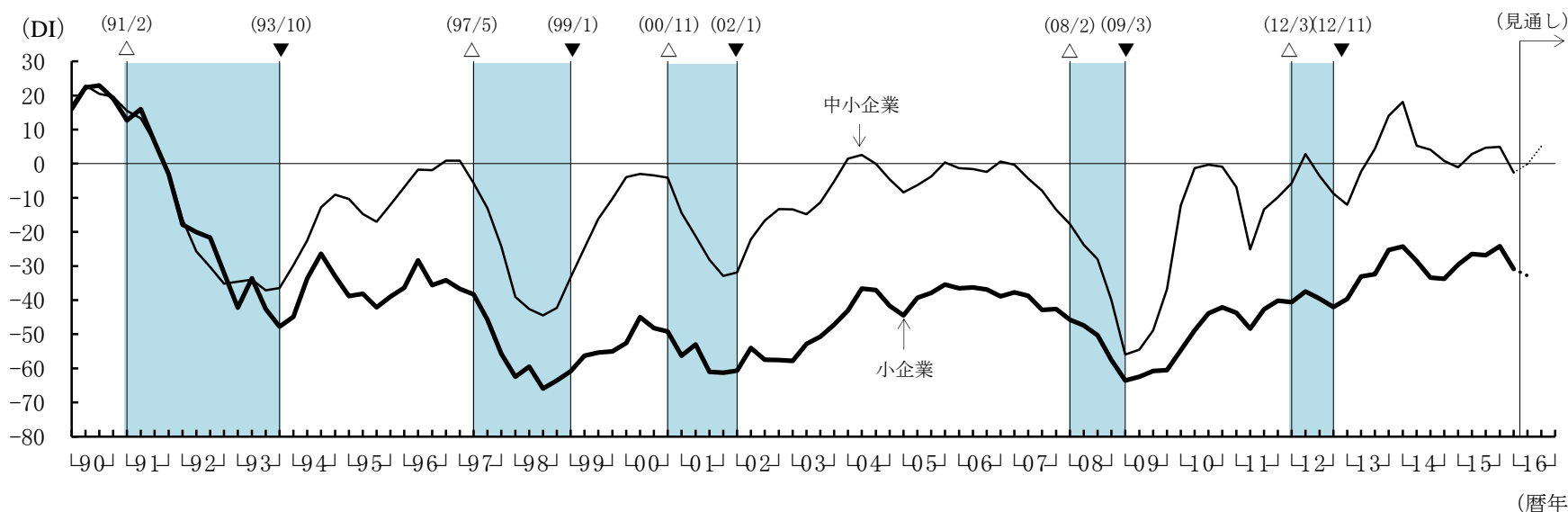
概況	15
調査の実施要領	16
業況判断	17
売上	20
利益	21
価格、金融関連	22
雇用、設備	23
経営上の問題点	24

調査結果の概要

1 業況判断DIの推移

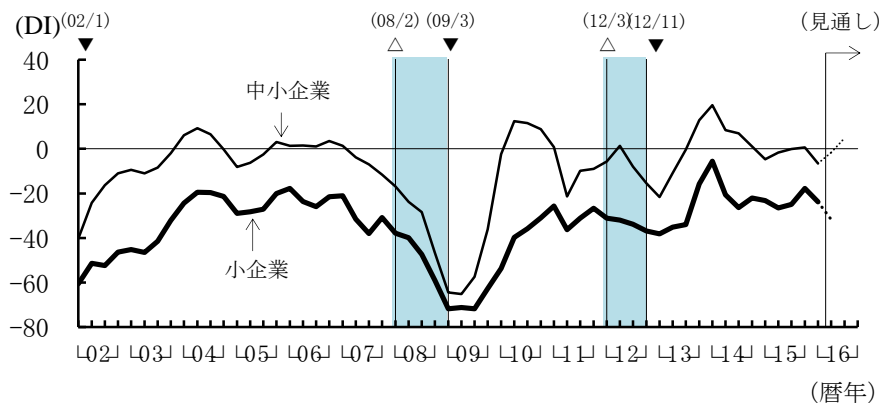
①全業種計

	14.1-3	14.4-6	14.7-9	14.10-12	15.1-3	15.4-6	15.7-9	15.10-12	16.1-3	16.4-6	16.7-9
中小企業	18.1	5.3	4.1	0.8	▲1.0	2.8	4.7	4.9	▲2.6	見通し	見通し
小企業	▲24.3	▲28.5	▲33.4	▲33.8	▲29.6	▲26.5	▲26.8	▲24.2	▲30.9	▲32.8	-



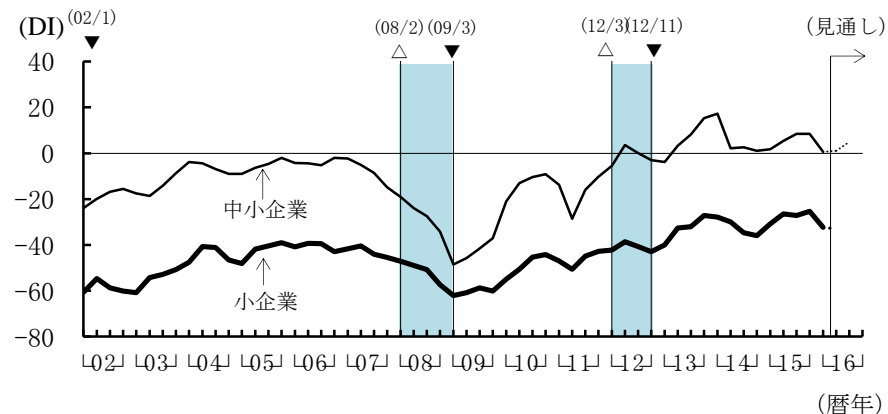
②製造業

	15.7-9	15.10-12	16.1-3	16.4-6	16.7-9
中小企業	▲0.1	0.6	▲6.5	▲1.7	4.8
小企業	▲25.0	▲17.7	▲23.8	▲31.7	-



③非製造業

	15.7-9	15.10-12	16.1-3	16.4-6	16.7-9
中小企業	8.5	8.4	0.6	1.0	4.9
小企業	▲27.2	▲25.4	▲32.3	▲33.0	-

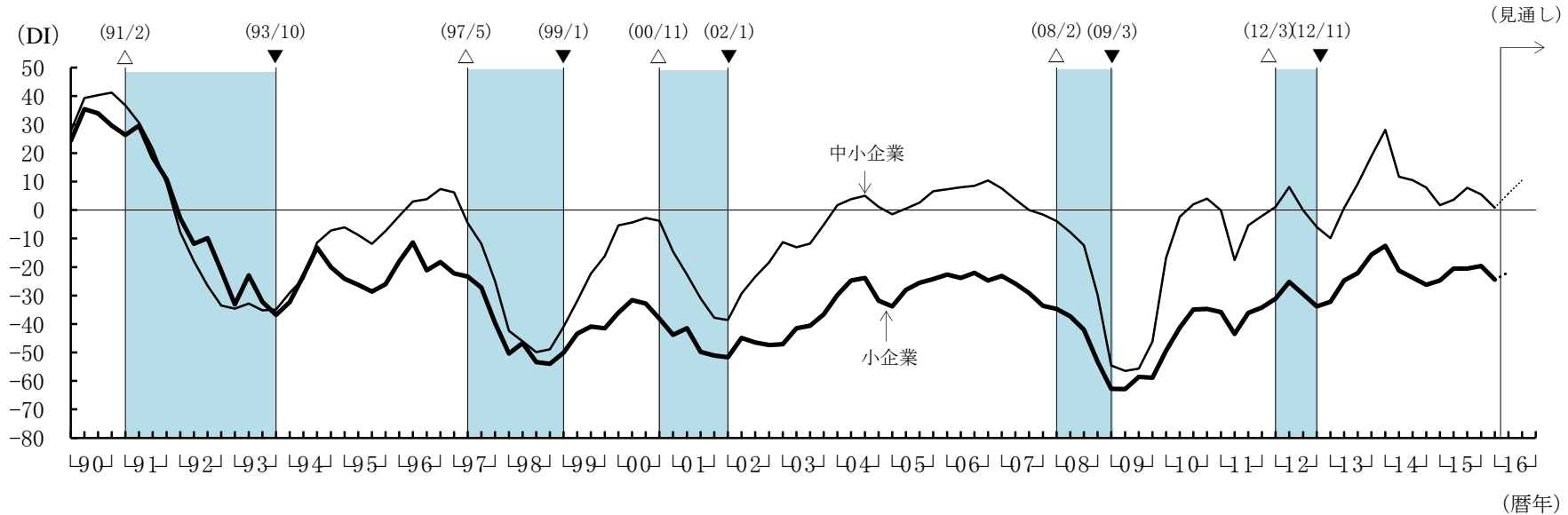


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャド一部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

2 売上DIの推移

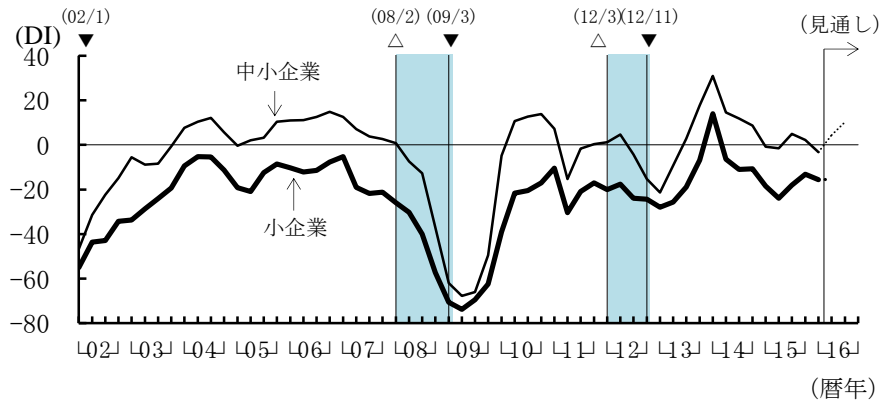
①全業種計

	14.1-3	14.4-6	14.7-9	14.10-12	15.1-3	15.4-6	15.7-9	15.10-12	16.1-3	16.4-6	16.7-9
中小企業	28.2	11.7	10.5	7.9	1.7	3.6	7.8	5.5	0.8	見通し	見通し
小企業	▲12.5	▲21.3	▲23.8	▲26.2	▲24.7	▲20.5	▲20.5	▲19.6	▲24.4	▲21.8	-



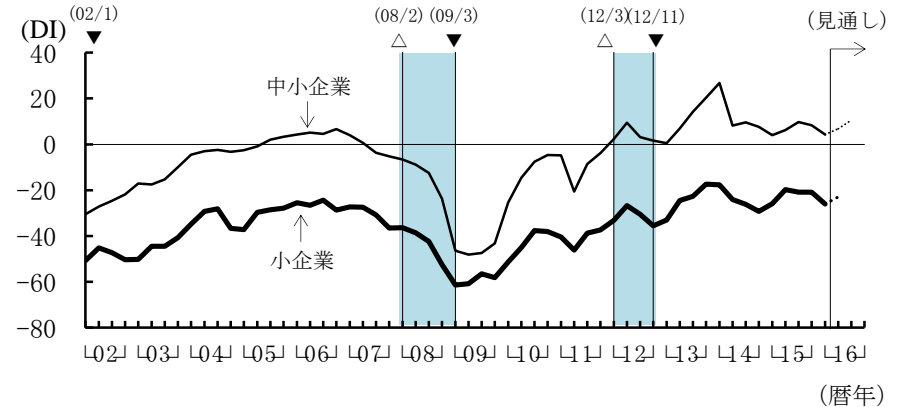
②製造業

	15.7-9	15.10-12	16.1-3	16.4-6	16.7-9
中小企業	5.0	2.2	▲3.3	4.3	見通し
小企業	▲18.1	▲13.1	▲15.6	▲15.5	-



③非製造業

	15.7-9	15.10-12	16.1-3	16.4-6	16.7-9
中小企業	9.7	8.3	4.2	6.8	見通し
小企業	▲20.9	▲20.9	▲26.0	▲23.0	-



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整済）。

小 企 業 編

(2016年1－3月期実績、4－6月期見通し)

小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

[概況]

- ・業況判断DIは、前回調査（2015年10-12月期）に比べてマイナス幅が6.7ポイント拡大し、▲30.9となった。来期は、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。
- ・業種別にみると、製造業は3期ぶりにマイナス幅が拡大し、▲23.8となった。非製造業もマイナス幅が拡大し、▲32.3となった。来期も、製造業、非製造業ともに、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。
- ・売上DIは、マイナス幅が拡大した。来期は、マイナス幅が縮小する見通しとなっている。
- ・採算DIは、マイナス幅が拡大した。来期は、マイナス幅が縮小する見通しとなっている。

[調査の実施要領]

調査時点 2016年3月中旬
 調査対象 当公庫取引先 10,000 企業
 有効回答数 6,400 企業 [回答率 64.0 %]

<業種構成>

		調査対象	有効回答数	
製造業	(従業者20人未満)	1,500 企業	1,016 企業	(構成比 15.9 %)
卸売業	(同 10人未満)	800 企業	542 企業	(同 8.5 %)
小売業	(同 10人未満)	2,450 企業	1,534 企業	(同 24.0 %)
飲食店・宿泊業	(同 10人未満)	1,800 企業	1,063 企業	(同 16.6 %)
サービス業	(同 20人未満)	2,000 企業	1,300 企業	(同 20.3 %)
情報通信業	(同 20人未満)	160 企業	83 企業	(同 1.3 %)
建設業	(同 20人未満)	1,100 企業	733 企業	(同 11.5 %)
運輸業	(同 20人未満)	190 企業	129 企業	(同 2.0 %)

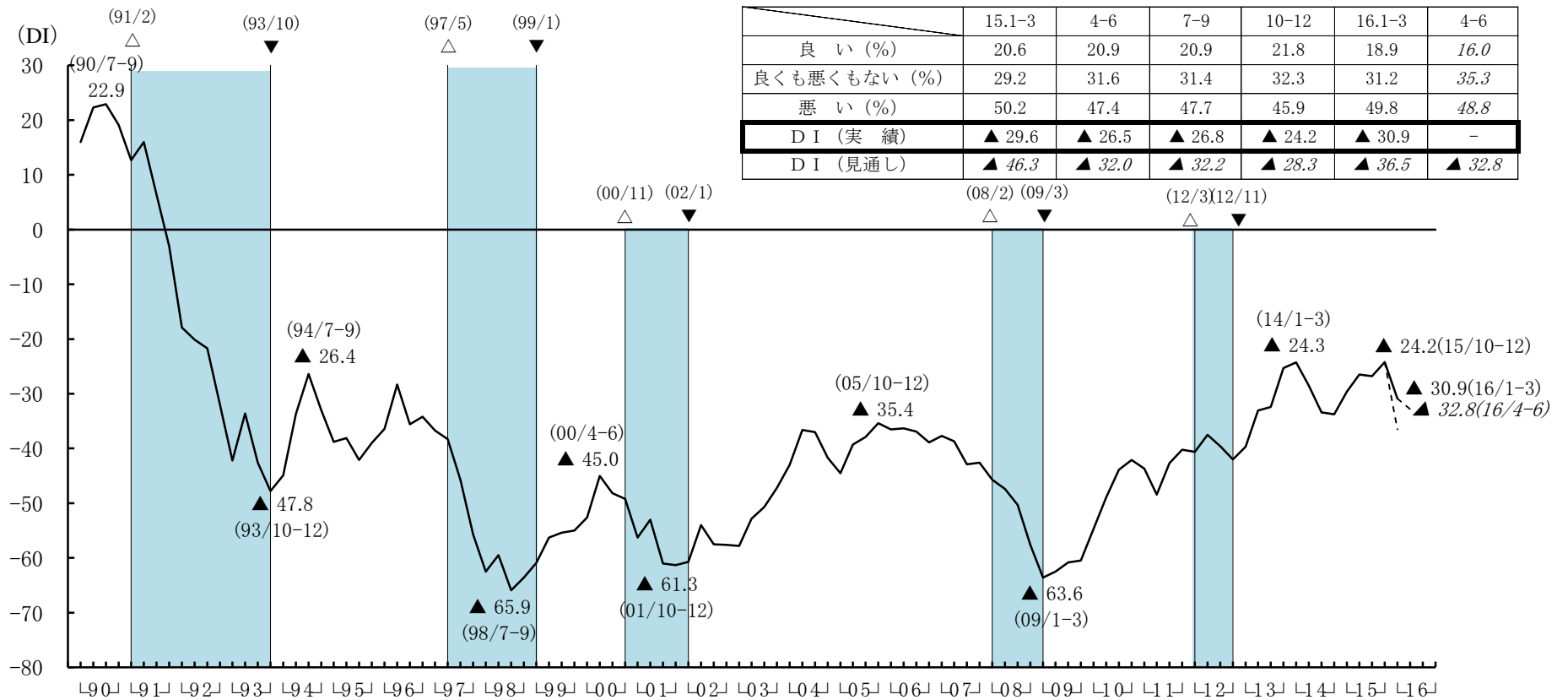
(参考)

法人	4,124 企業	(構成比 64.4 %)
個人	2,276 企業	(同 35.6 %)

1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前回調査（2015年10-12月期）に比べてマイナス幅が6.7ポイント拡大し、▲30.9となった。来期は、マイナス幅がさらに拡大し、▲32.8となる見通しである。
- 業種別にみると、製造業は3期ぶりにマイナス幅が拡大し、▲23.8となった。非製造業もマイナス幅が拡大し、▲32.3となった。非製造業を構成する大分類業種のうち、情報通信業を除く全ての業種でマイナス幅が拡大した。来期も、製造業、非製造業ともに、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。
- 地域別にみると、全ての地域でマイナス幅が拡大した。来期は、東京・南関東、東海、近畿、中国、四国、九州でマイナス幅が拡大する見通しとなっている。

図－1 業況判断DIの推移（全業種計）

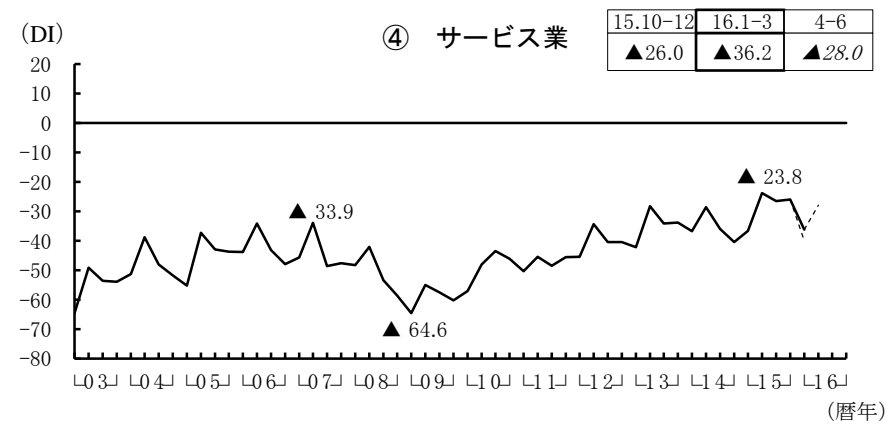
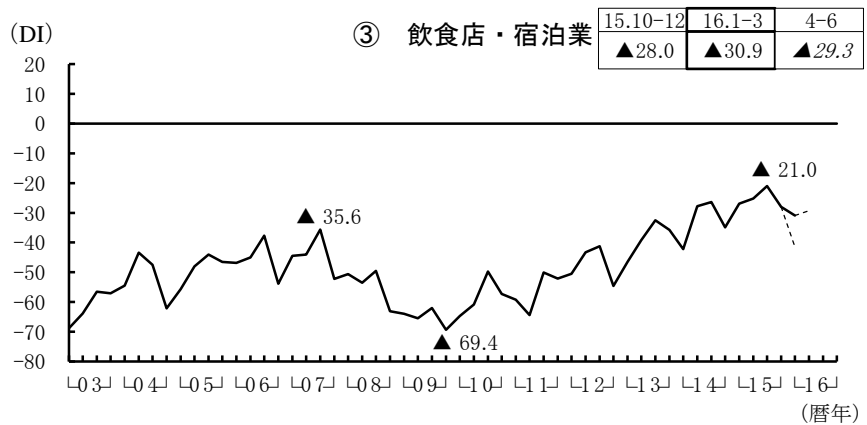
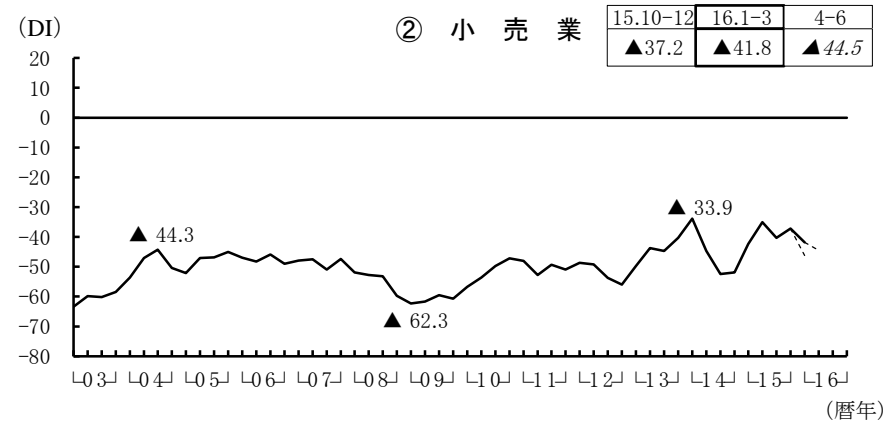
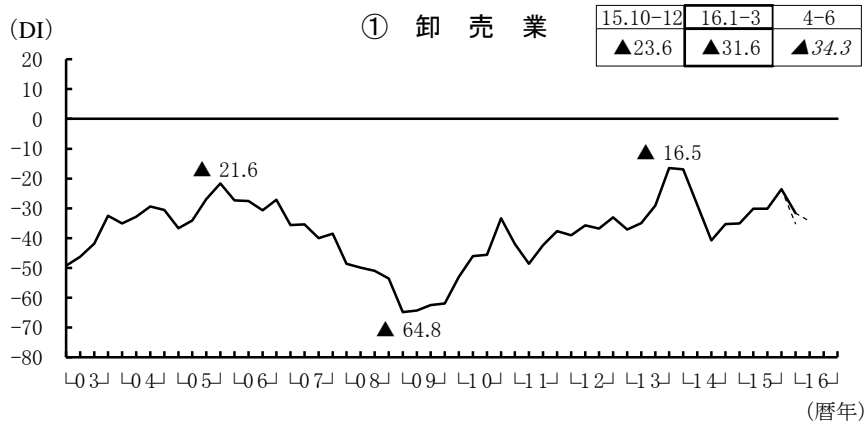
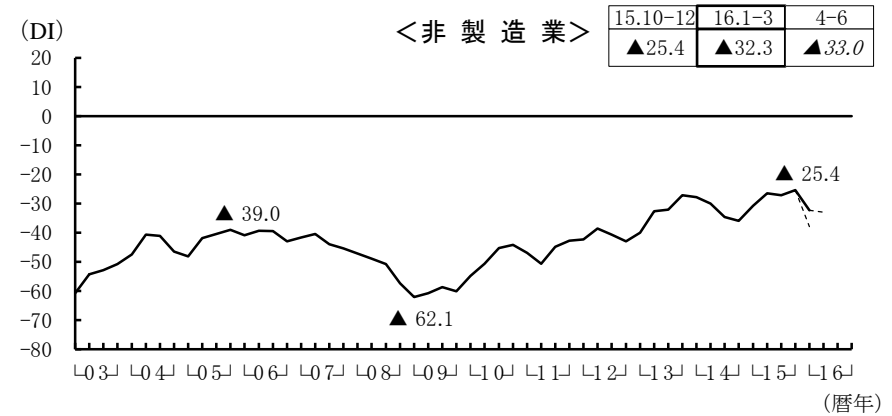
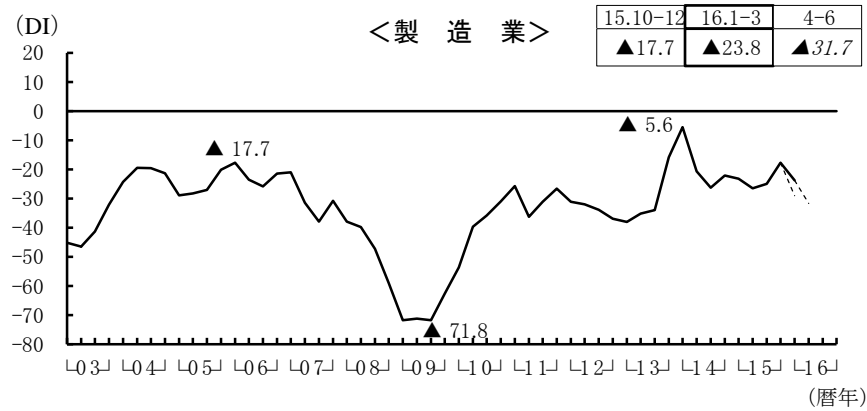


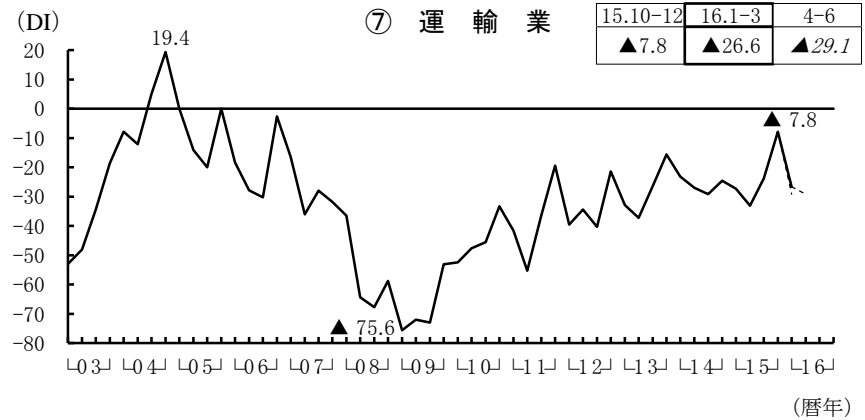
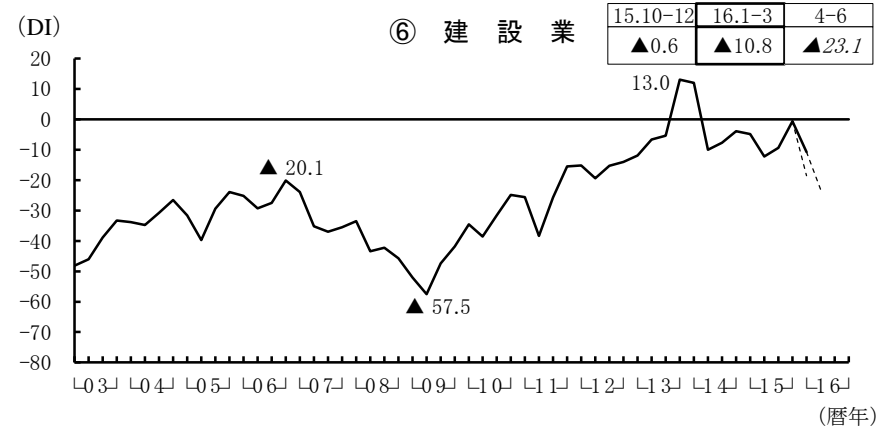
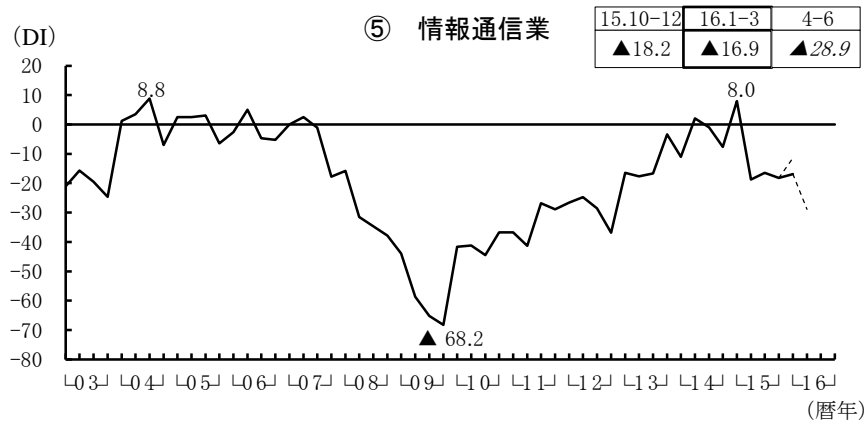
(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

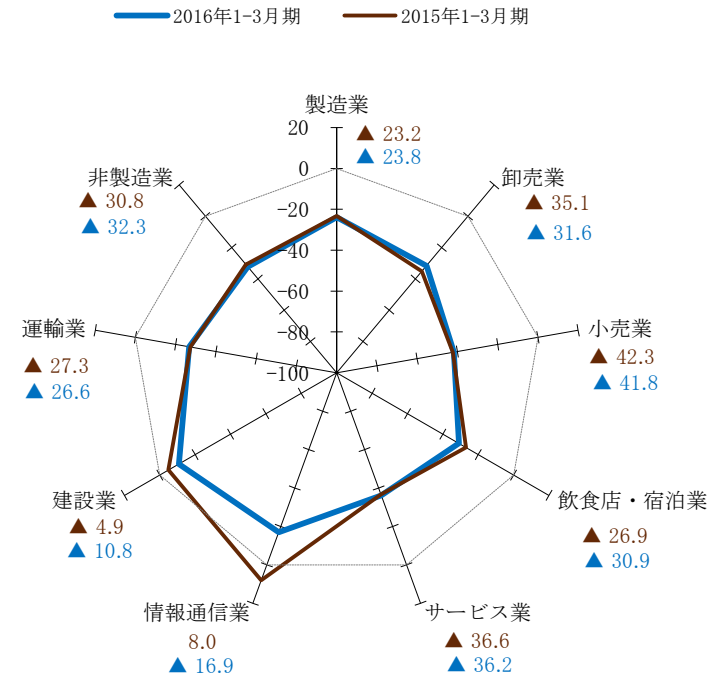
(暦年)

図－２ 業種別業況判断DIの推移





(参考2) 1年前 (2015年1-3月期) の水準との比較



(注) 各業種の値は、上段が1年前、下段が今期を示している。

(参考1) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移

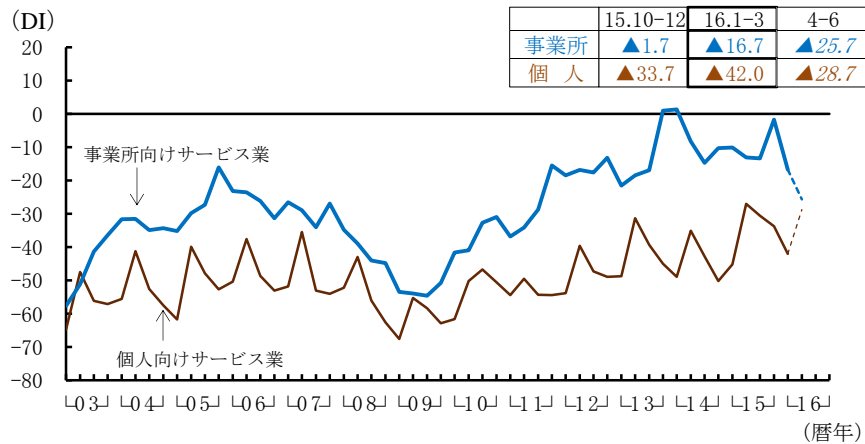
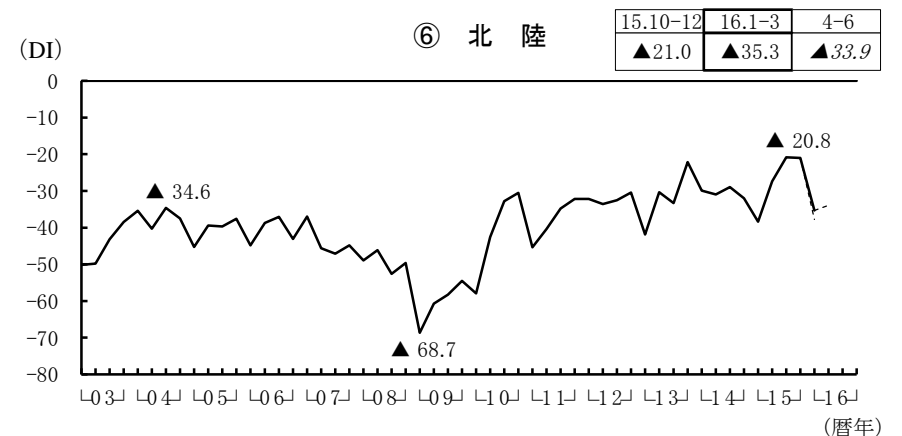
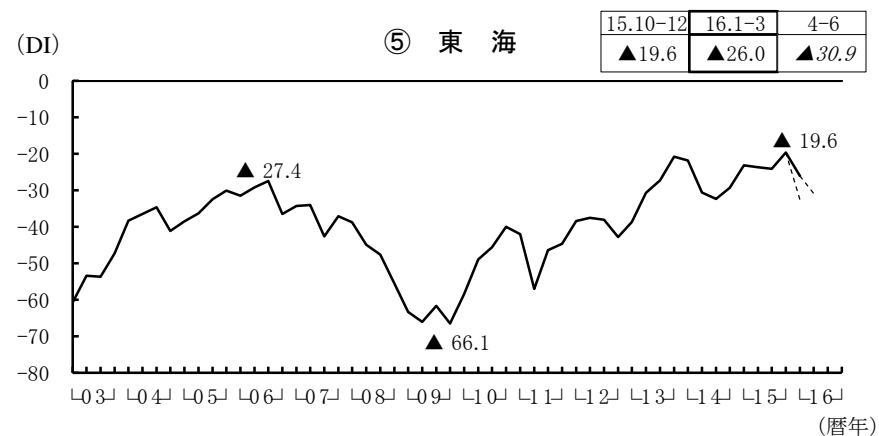
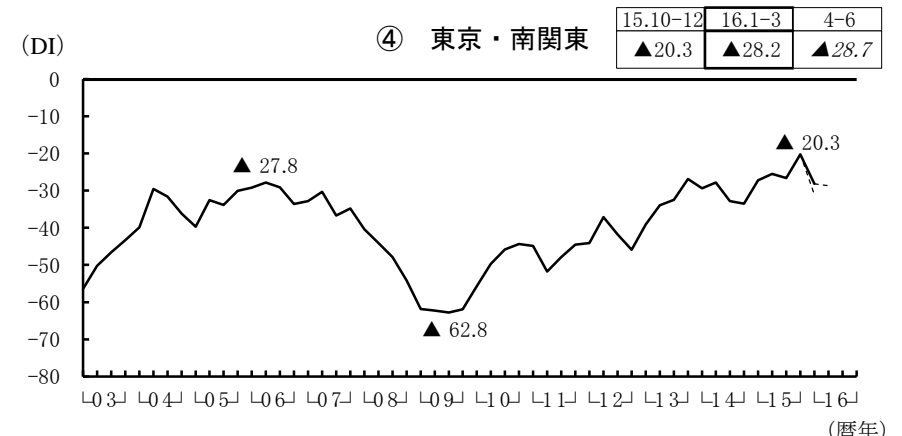
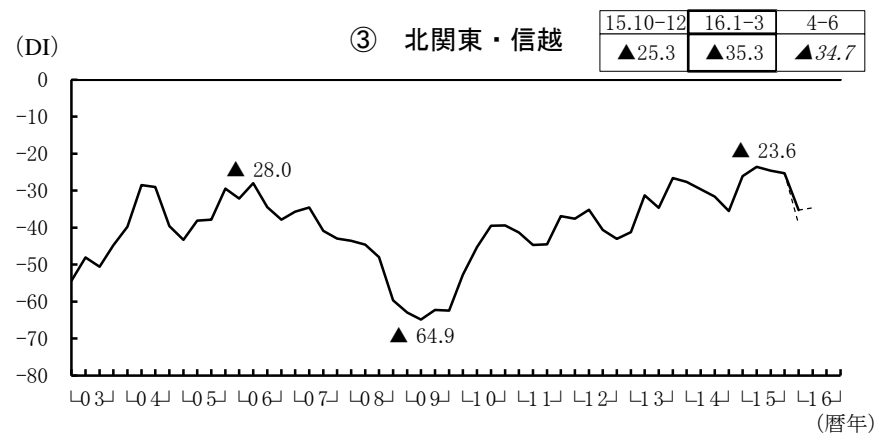
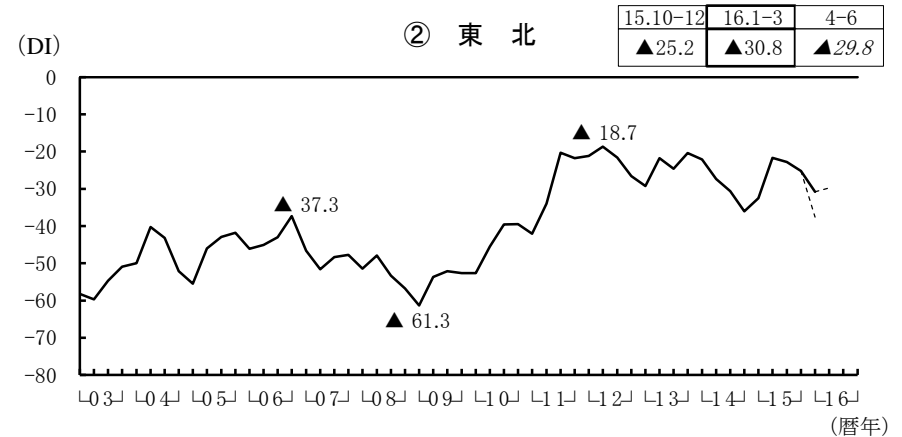
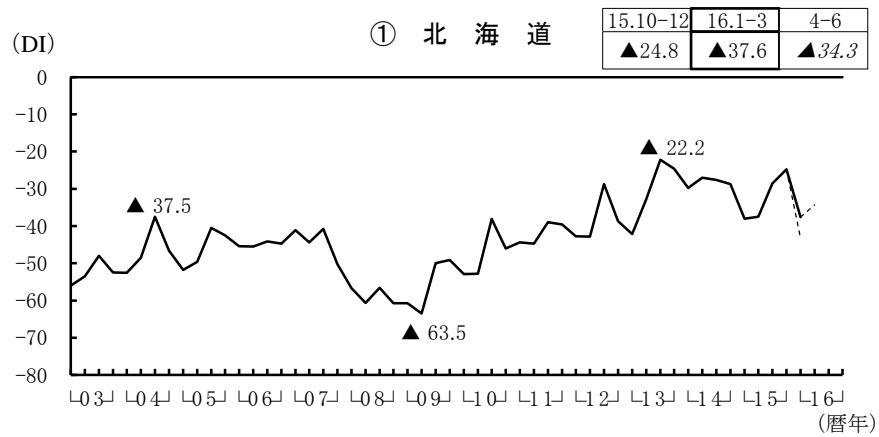
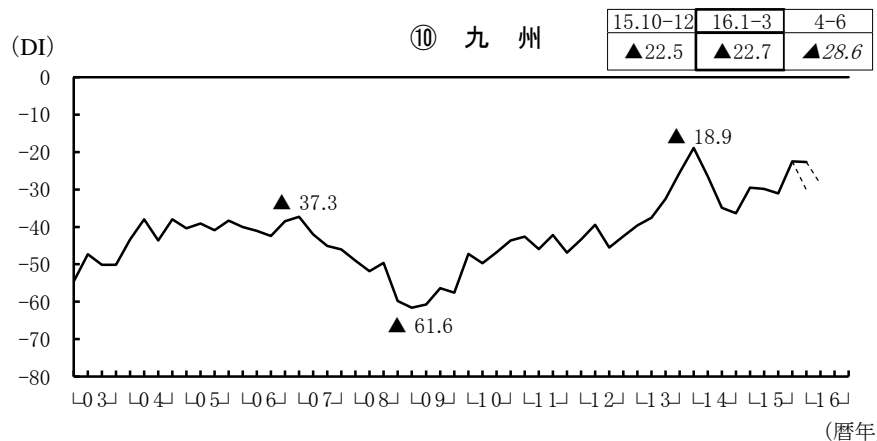
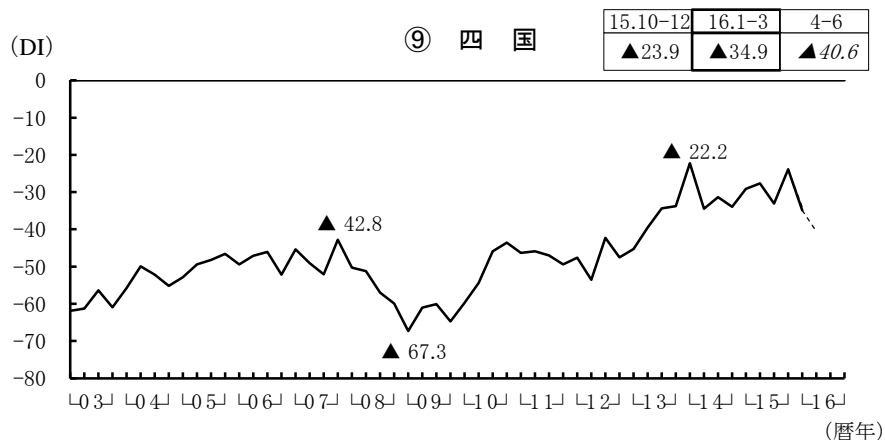
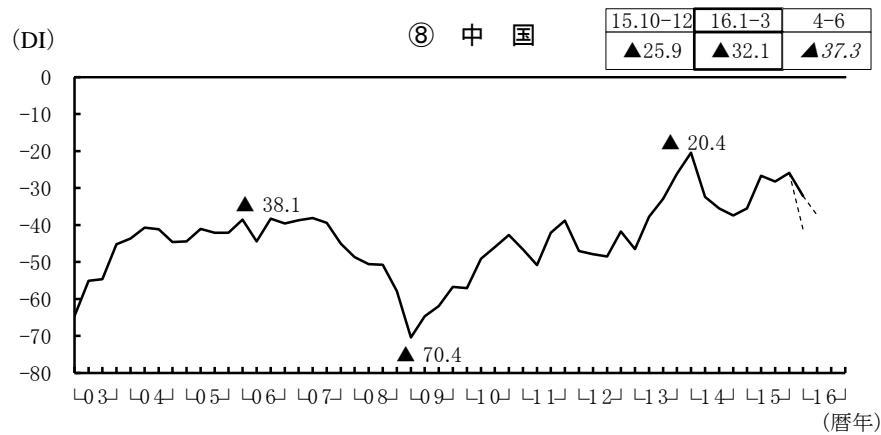
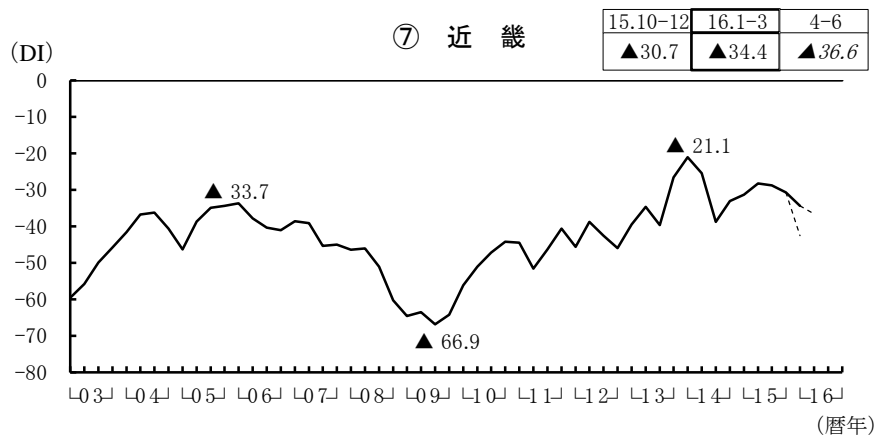
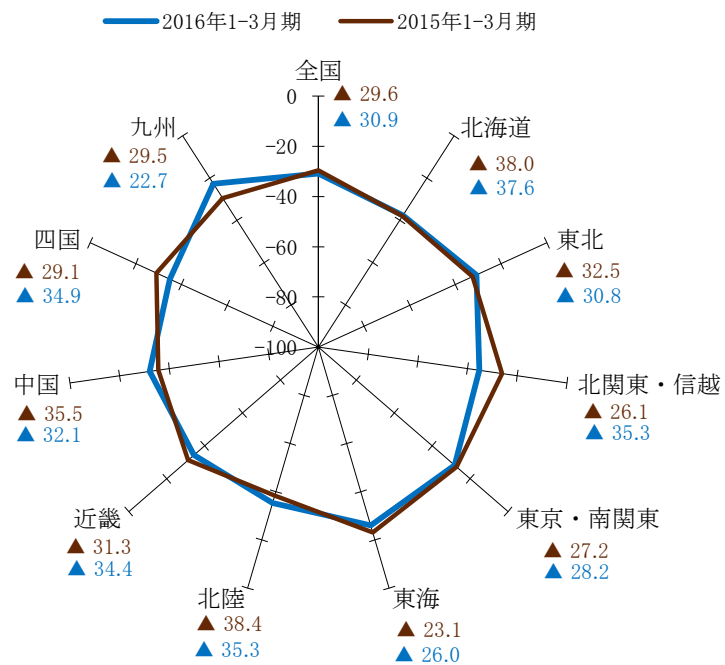


図-3 地域別業況判断DIの推移





(参考) 1年前 (2015年1-3月期) の水準との比較

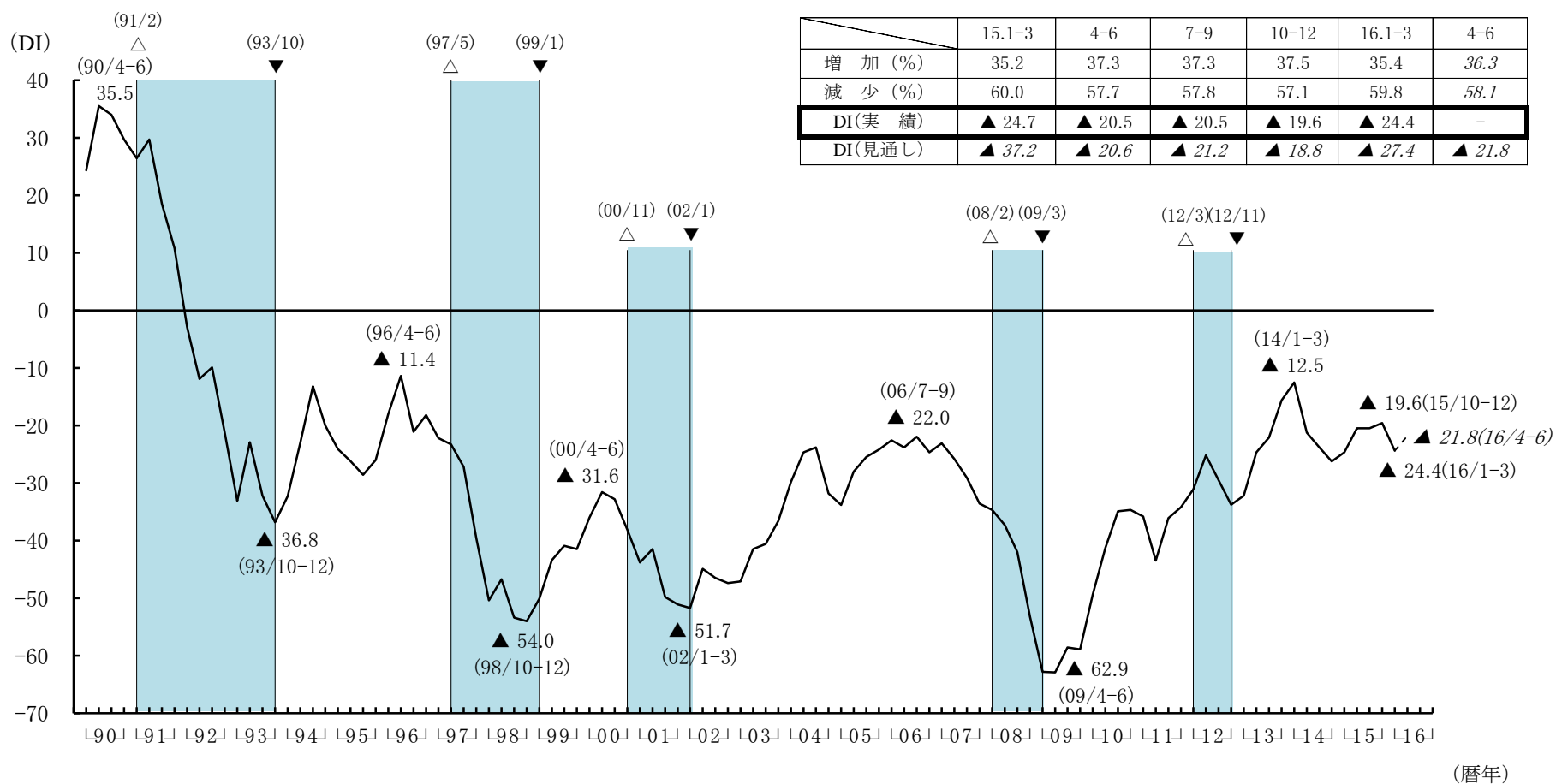


(注) 各地域の値は、上段が1年前、下段が今期を示している。

2 売上

- 売上DI(全業種計)は、前回調査に比べてマイナス幅が4.8ポイント拡大し、▲24.4となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しとなっている。

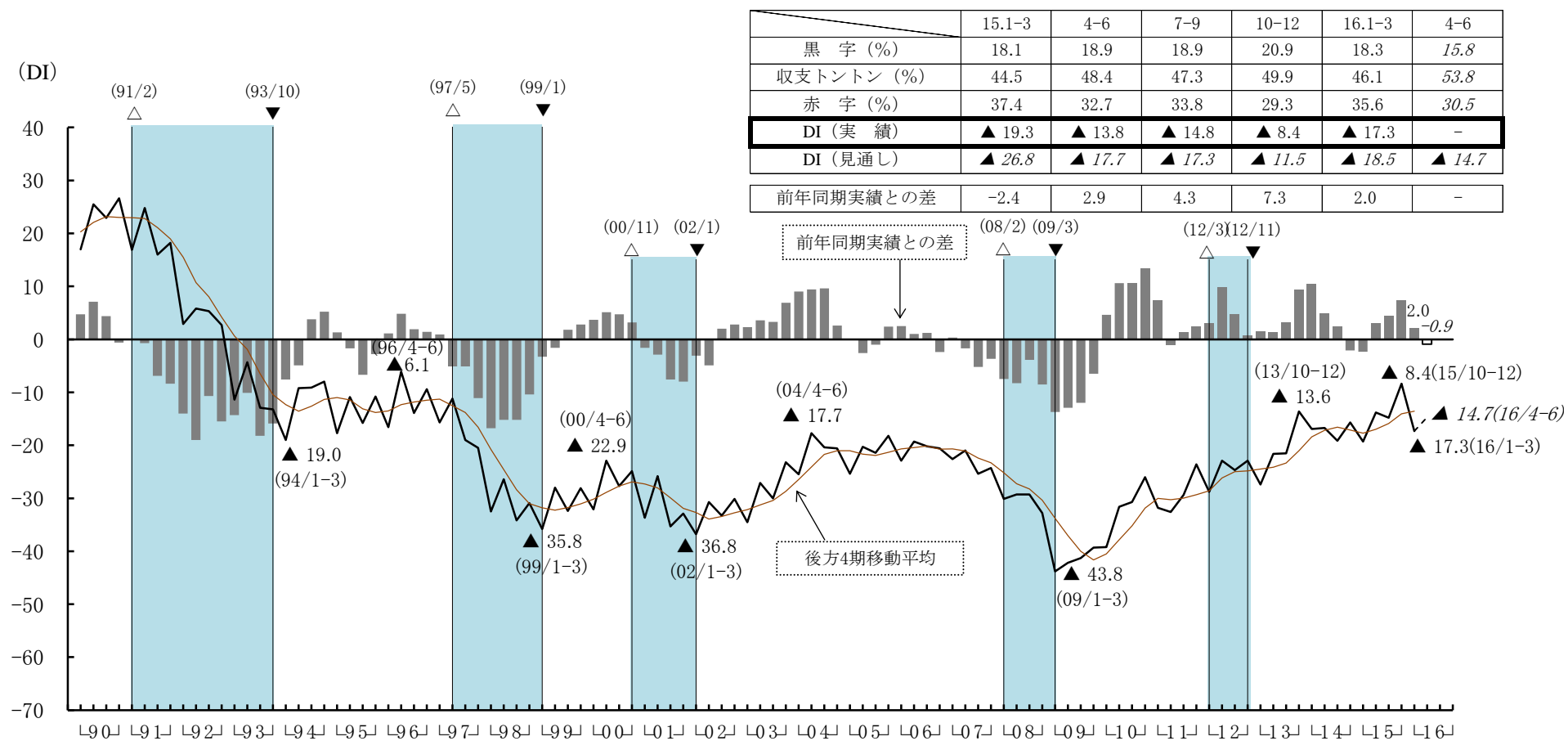
図－4 売上DIの推移（全業種計）



3 採算

- 採算DI(全業種計)は、前回調査に比べてマイナス幅が8.9ポイント拡大し、▲17.3となった。前年同期実績と比べると、4期連続で上回っている。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しとなっている。

図－5 採算DIの推移（全業種計）



(注) 1 DIは、「黒字」と回答した企業割合から「赤字」と回答した企業割合を差し引いた値。

(暦年)

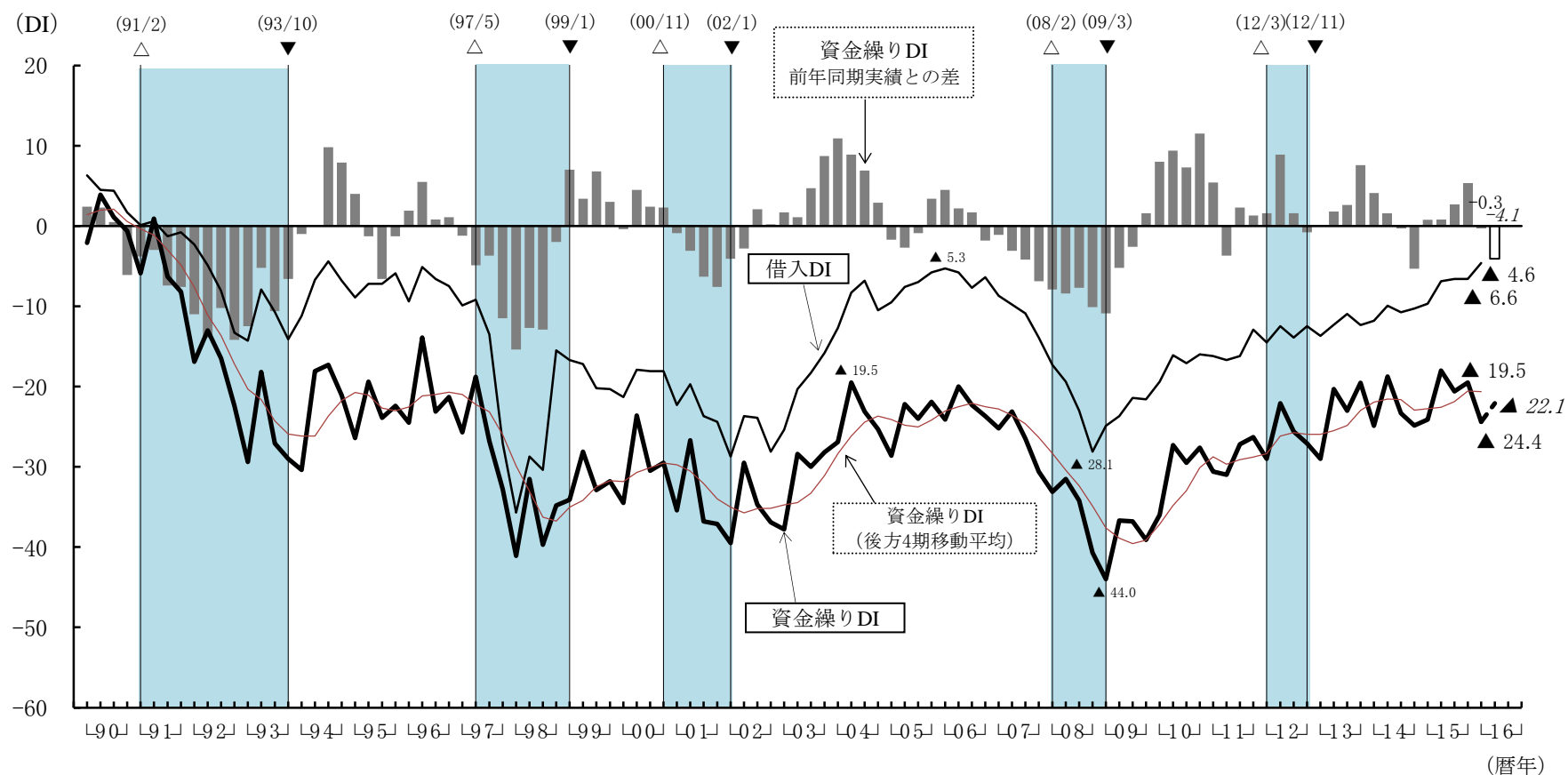
2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

3 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、マイナス幅が4.9ポイント拡大し、▲24.4となった。来期は、マイナス幅が縮小する見通しとなっている。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期から2.0ポイント上昇し、▲4.6となった。

図－6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）

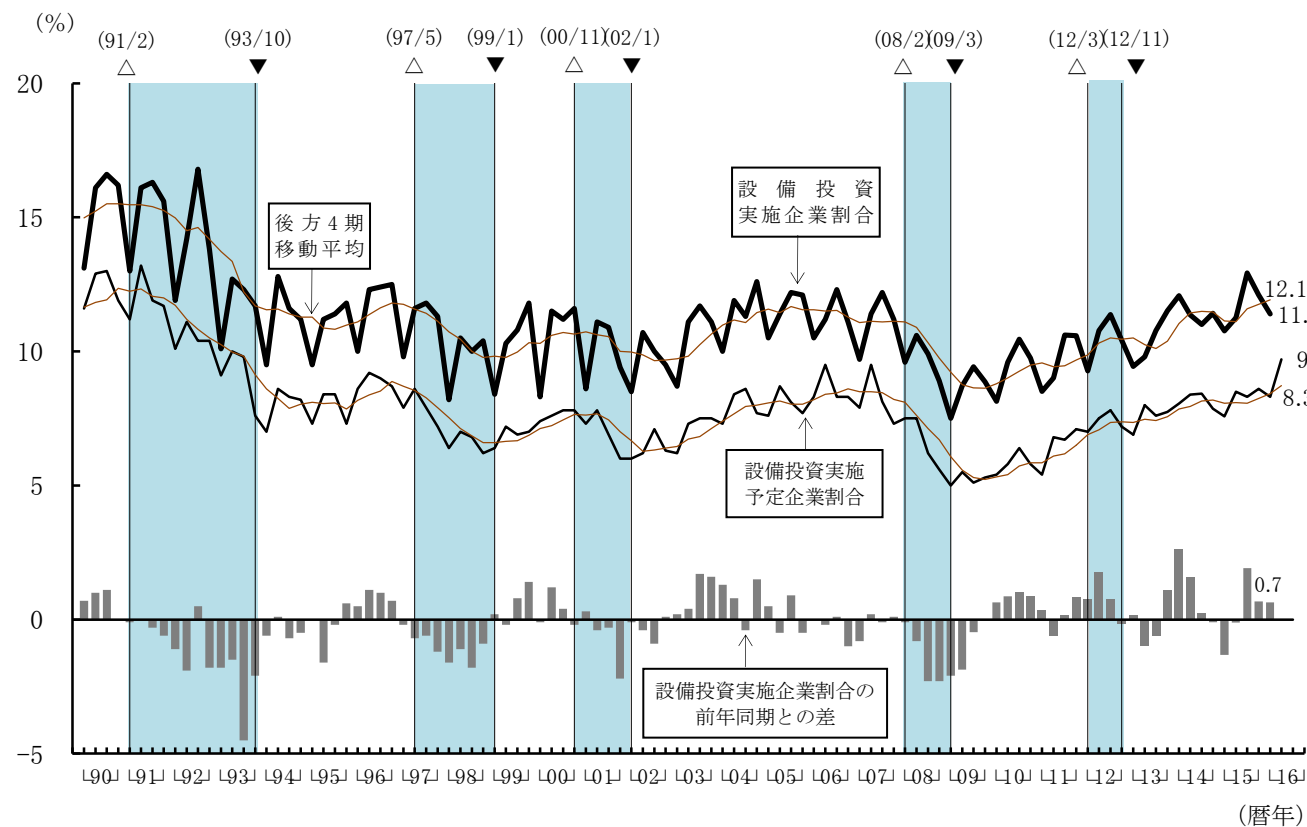


- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。
 3 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

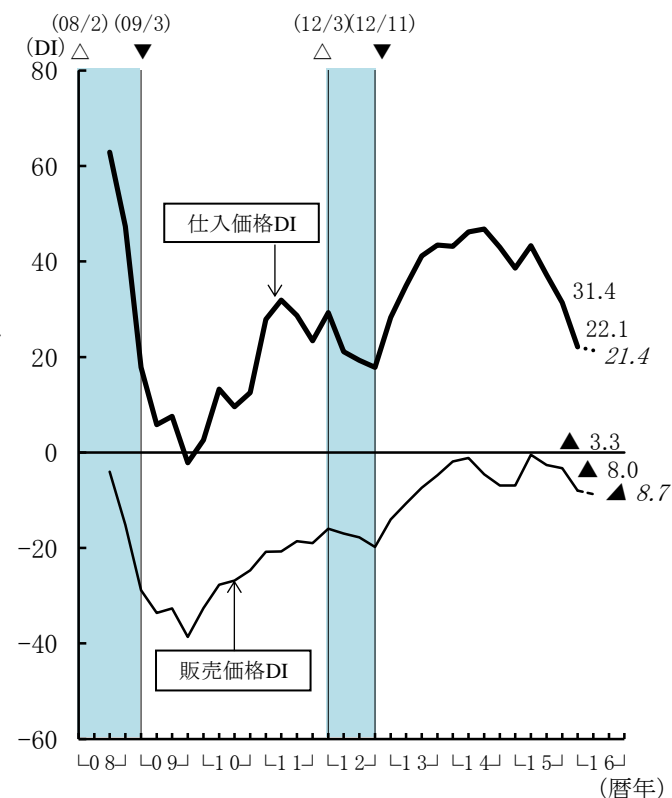
6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、0.7ポイント低下し、11.4%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、マイナス幅が4.7ポイント拡大し、▲8.0となった。来期も、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、9.3ポイント低下し、22.1となった。来期も、低下する見通しとなっている。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計）



図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 3 2008年7～9月期から調査を実施。

中 小 企 業 編

(2016年1-3月期実績、4-6月期、および7-9月期見通し)

中小企業の景況は、 弱い動きはみられるものの、緩やかに回復している

[概況]

- ・業況判断DIは、前期（2015年10-12月期）から低下し▲2.6となった。低下は4期ぶりである。来期（2016年4-6月期）は上昇して▲0.1になり、来々期（2016年7-9月期）は5.1になる見通しである。
- ・売上DIは、2期連続で低下し、0.8となった。来期は上昇して5.8になり、来々期は10.5になる見通しである。
- ・純益率DIは、4期ぶりに低下し、▲2.9となった。来期は▲2.3に上昇し、来々期は0.4になる見通しである。
- ・販売価格DIは、7期連続で低下し、▲2.8となった。来期は低下、来々期は上昇する見通しである。
- ・仕入価格DIは、7期連続で低下し、9.2となった。来期は低下、来々期は上昇する見通しである。
- ・資金繰りDI、短期借入難易DIは前期から低下し、長期借入難易DIは上昇した。

[調査の実施要領]

調 査 時 点	2016年3月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先（原則従業員20人以上） 12,399社
有 効 回 答 数	5,774 社 [回答率 46.6 %]

<業種構成>

	調 査 対 象	有 効 回 答 数		
製 造 業	5,152 社	2,478 社	(構成比	42.9 %)
鉱 業	23 社	11 社	(同	0.2 %)
建 設 業	991 社	533 社	(同	9.2 %)
運送業(除水運)	656 社	307 社	(同	5.3 %)
水 運 業	140 社	71 社	(同	1.2 %)
倉 庫 業	83 社	39 社	(同	0.7 %)
情 報 通 信 業	241 社	96 社	(同	1.7 %)
ガ ス 供 給 業	19 社	11 社	(同	0.2 %)
不 動 産 業	828 社	346 社	(同	6.0 %)
宿泊・飲食サービス業	471 社	180 社	(同	3.1 %)
卸 売 業	1,747 社	833 社	(同	14.4 %)
小 売 業	919 社	386 社	(同	6.7 %)
サ ー ビ ス 業	1,129 社	483 社	(同	8.4 %)

(参 考)

資本金	100 万 円 未 満	38 社	(構成比	0.7 %)
同	100 万 ~ 300 万 円 未 満	77 社	(同	1.3 %)
同	300 万 ~ 1,000 万 円 未 満	452 社	(同	7.8 %)
同	1,000 万 ~ 5,000 万 円 未 満	3,848 社	(同	66.6 %)
同	5,000 万 円 ~ 1 億 円 未 満	1,067 社	(同	18.5 %)
同	1 億 ~ 3 億 円 未 満	235 社	(同	4.1 %)
同	3 億 円 以 上	57 社	(同	1.0 %)

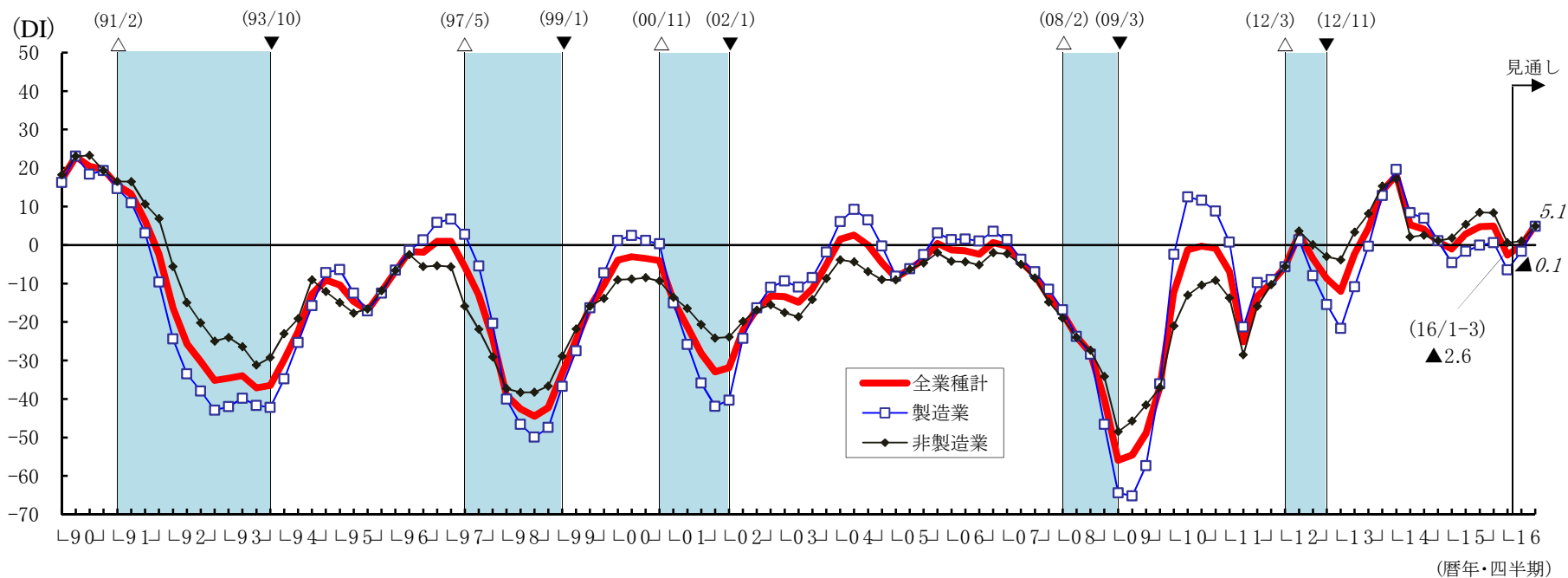
1 業況判断

○ 今期（2016年1－3月期）の業況判断DIは、前期（2015年10－12月期）から7.5ポイント低下し、▲2.6となった。低下は4期ぶりである。

○ 来期（2016年4－6月期）は▲0.1に、来々期（2016年7－9月期）は5.1に上昇する見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

	2015/1-3	2015/4-6	2015/7-9	2015/10-12	2016/1-3 (前回見通し)	2016/4-6 (前回見通し)	2016/7-9
業況判断DI (季節調整値)	▲ 1.0	2.8	4.7	4.9	▲ 2.6 (9.2)	▲ 0.1 (10.5)	5.1
製 造 業	▲ 4.6	▲ 1.6	▲ 0.1	0.6	▲ 6.5 (9.1)	▲ 1.7 (11.6)	4.8
非 製 造 業	1.8	5.4	8.5	8.4	0.6 (9.4)	1.0 (9.7)	4.9



(注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。

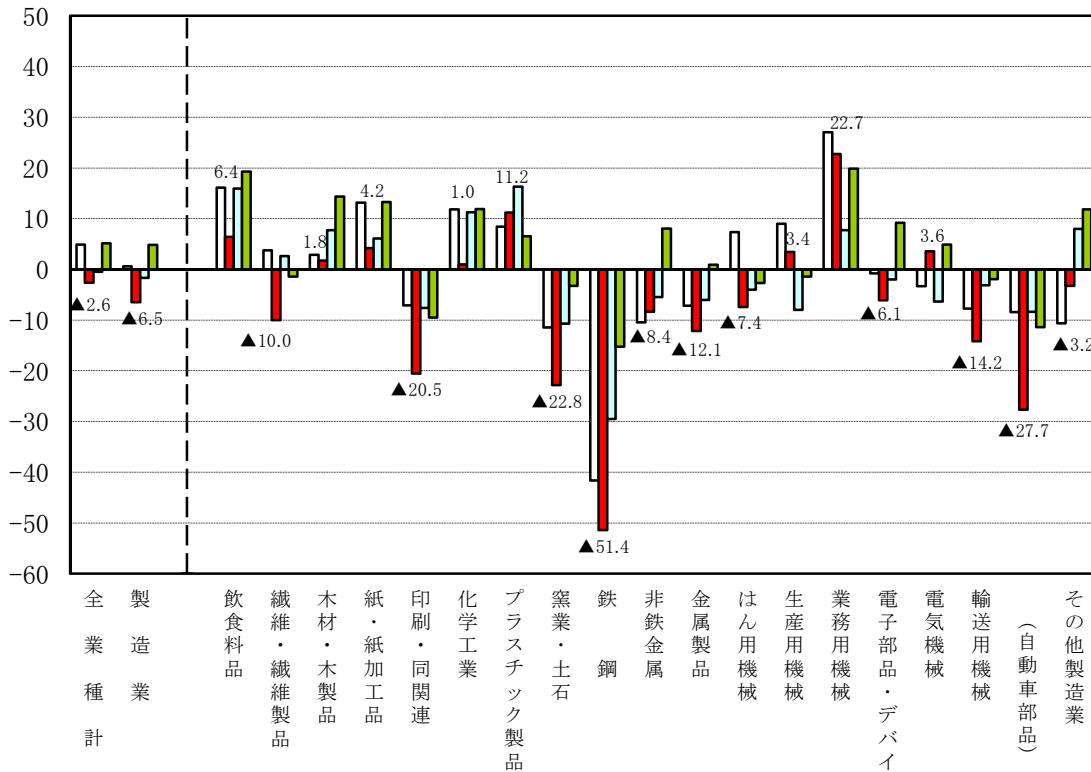
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、飲食料品、プラスチック製品、業務用機械などでプラス水準が続く一方、鉄鋼、非鉄金属、窯業・土石など素材関連の業種や、電子部品・デバイス、輸送用機械などで、マイナス幅が拡大した。来期以降は、多くの業種で上昇する見通しである。
- 非製造業は、卸売業、小売業などがマイナス水準となる一方、倉庫業、情報通信業、運送業、宿泊・飲食サービス業など、多くの業種でプラス水準を維持した。来期以降も、多くの業種でプラス水準が続く見通しである。

図－２ 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）

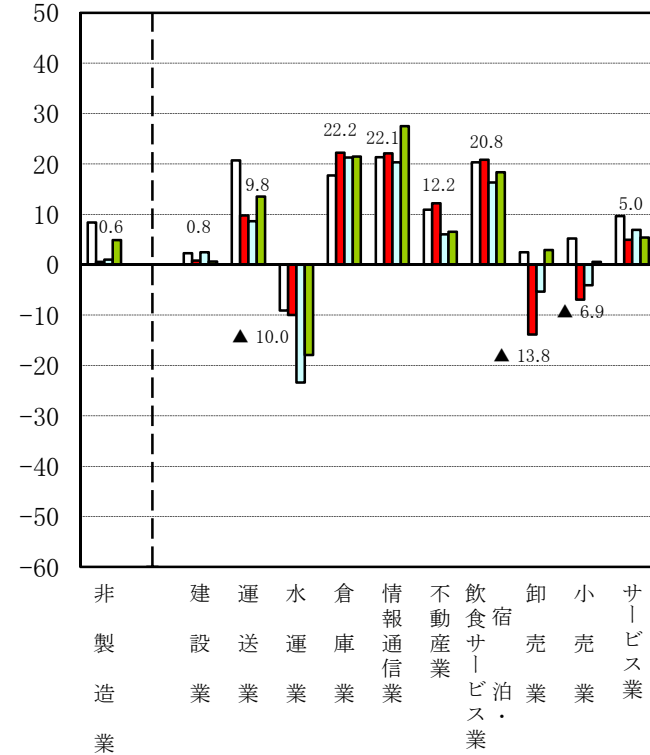


－製造業－
(DI)



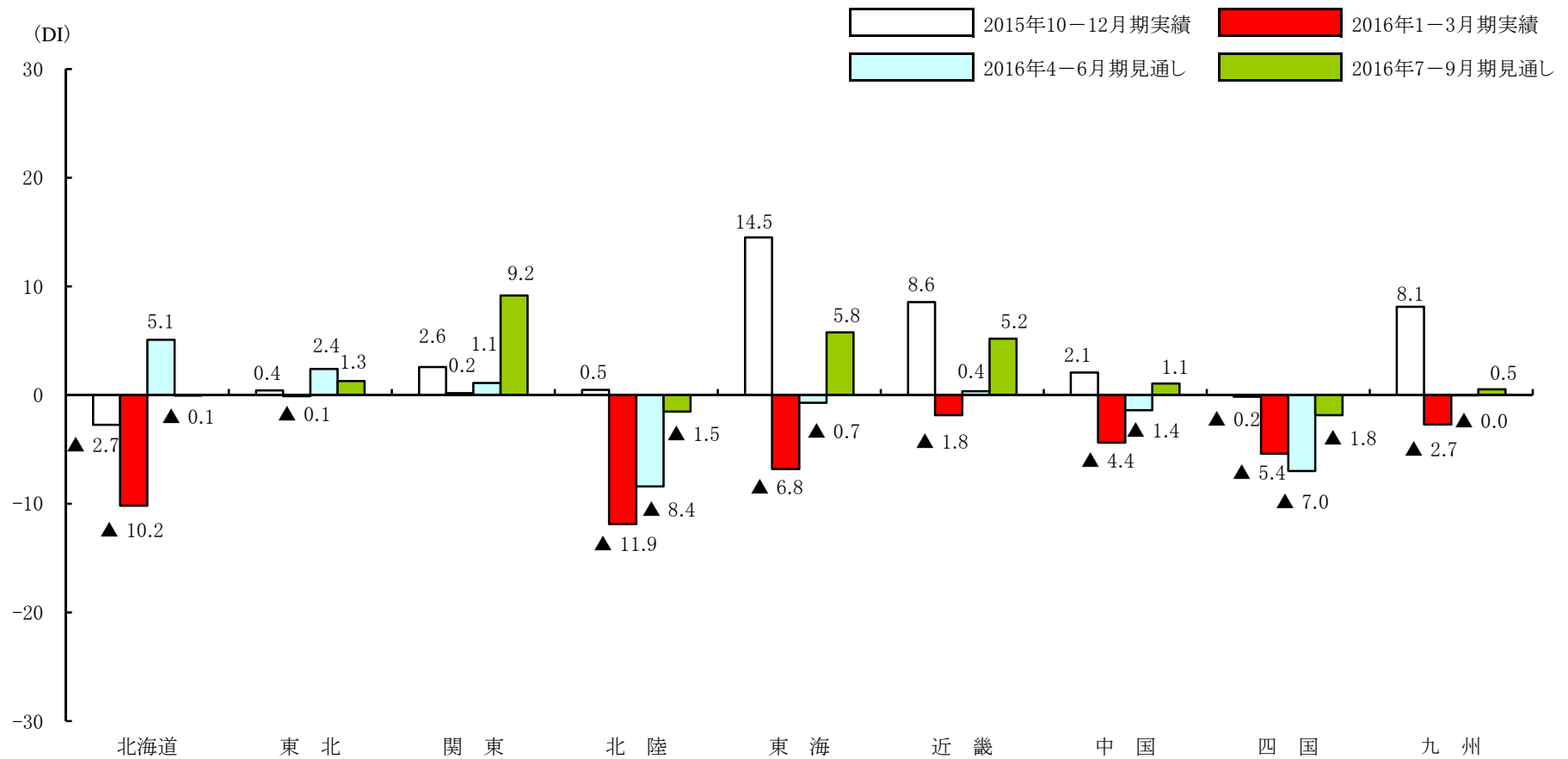
(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

－非製造業－
(DI)



- 業況判断DIを地域別にみると、北海道、東北、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州の8地域でマイナス水準となっている。
- 来期は4地域で、来々期は6地域でプラス水準となる見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

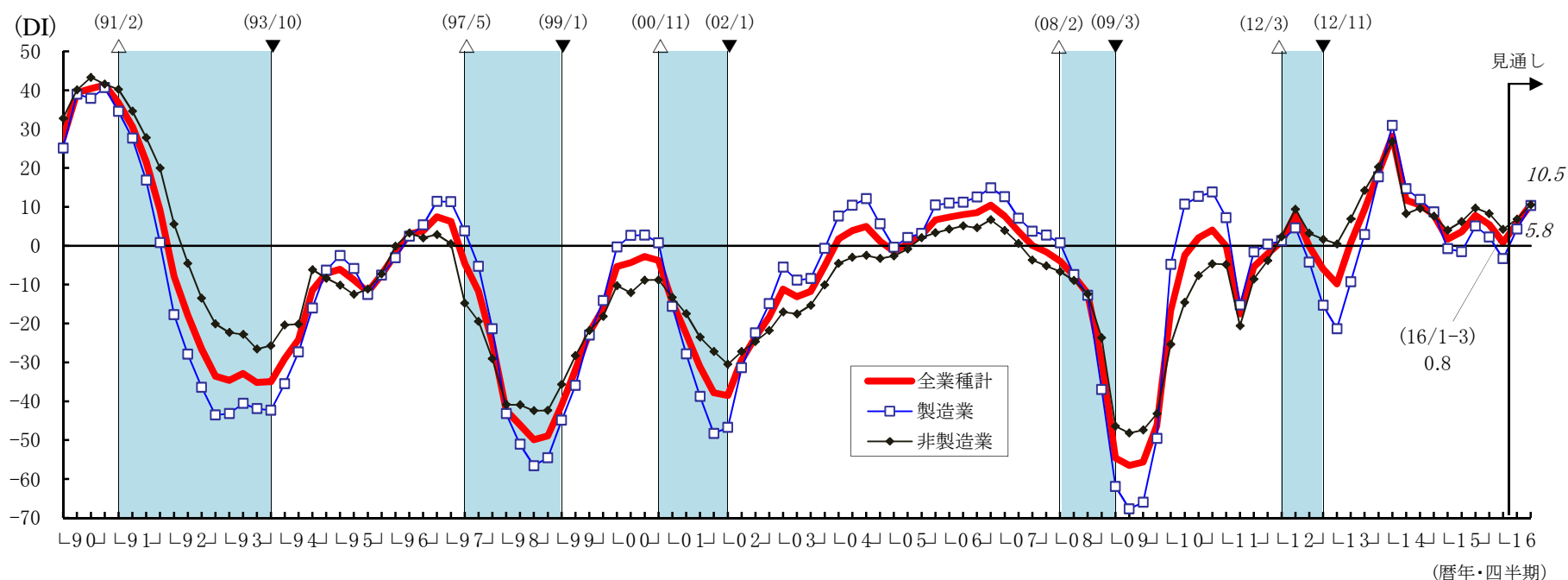


2 売上

- 今期の売上DIは、前期から4.7ポイント低下し0.8となった。低下は2期連続である。
- 来期は上昇して5.8になり、来々期は10.5になる見通しである。

図－4 売上DIの推移（季節調整値）

	2015/1-3	2015/4-6	2015/7-9	2015/10-12	2016/1-3 (前回見通し)	2016/4-6 (前回見通し)	2016/7-9
売上DI (季節調整値)	1.7	3.6	7.8	5.5	0.8 (14.0)	5.8 (17.5)	10.5
製 造 業	▲ 0.8	▲ 1.5	5.0	2.2	▲ 3.3 (15.0)	4.3 (20.2)	10.3
非 製 造 業	4.0	6.2	9.7	8.3	4.2 (12.7)	6.8 (15.1)	10.5



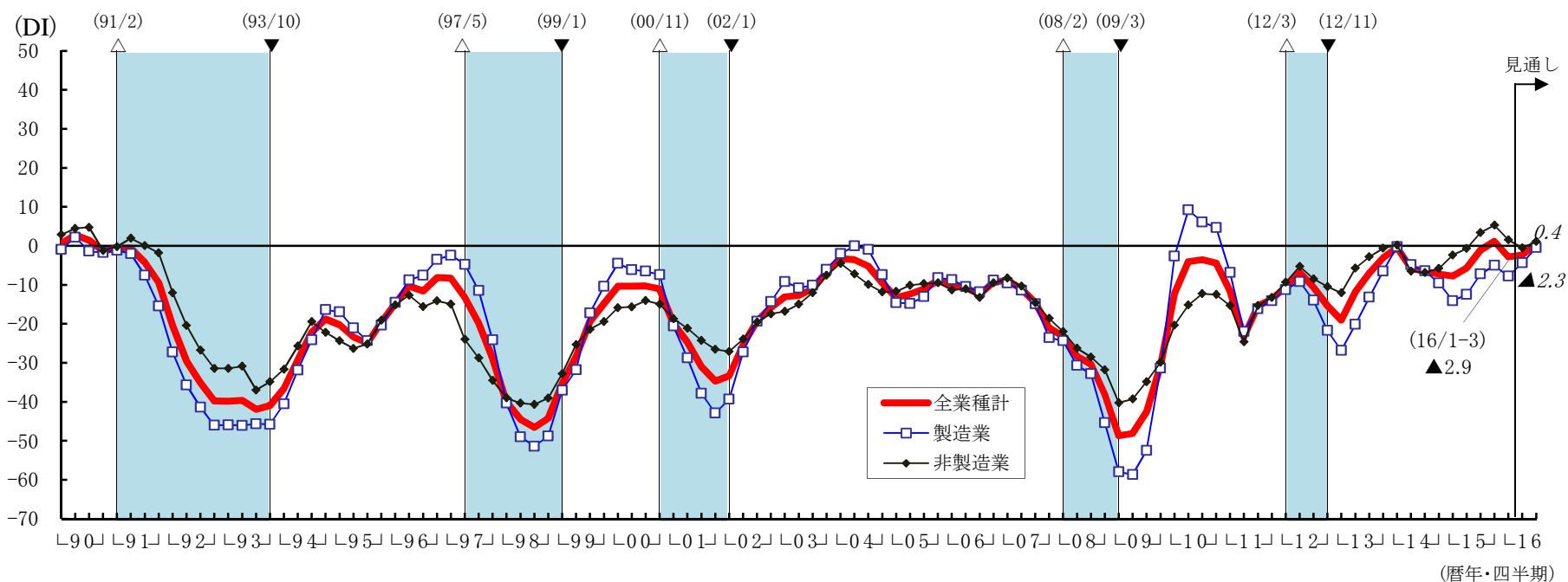
- (注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

3 利益

- 今期の純益率DIは、前期から4.0ポイント低下し▲2.9となった。低下は4期ぶりである。
- 来期は▲2.3に上昇し、来々期は0.4に上昇する見通しである。

図－5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2015/1-3	2015/4-6	2015/7-9	2015/10-12	2016/1-3 (前回見通し)	2016/4-6 (前回見通し)	2016/7-9
純益率DI (季節調整値)	▲ 7.7	▲ 5.7	▲ 1.0	1.1	▲ 2.9 (1.0)	▲ 2.3 (2.0)	0.4
製 造 業	▲ 14.1	▲ 12.5	▲ 7.2	▲ 5.0	▲ 7.8 (▲ 1.5)	▲ 4.4 (2.3)	▲ 0.5
非 製 造 業	▲ 2.4	▲ 0.7	3.4	5.3	1.6 (2.1)	▲ 0.5 (1.8)	1.1



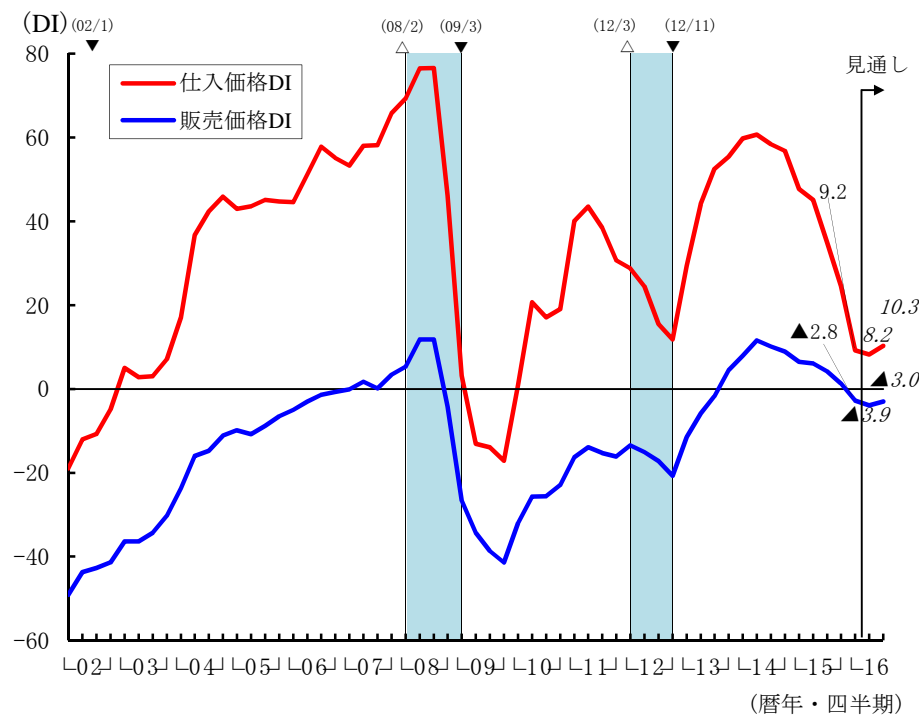
- (注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、4.1ポイント低下し▲2.8となった。仕入価格DIは、15.4ポイント低下し9.2となった。低下はいずれも7期連続である。来期は、販売価格DI、仕入価格DIともに低下、来々期は上昇する見通しである。
- 今期の資金繰りDI、短期借入難易DIは前期から低下、長期借入難易DIは上昇した。

図－6 価格関連DIの推移（原数値）

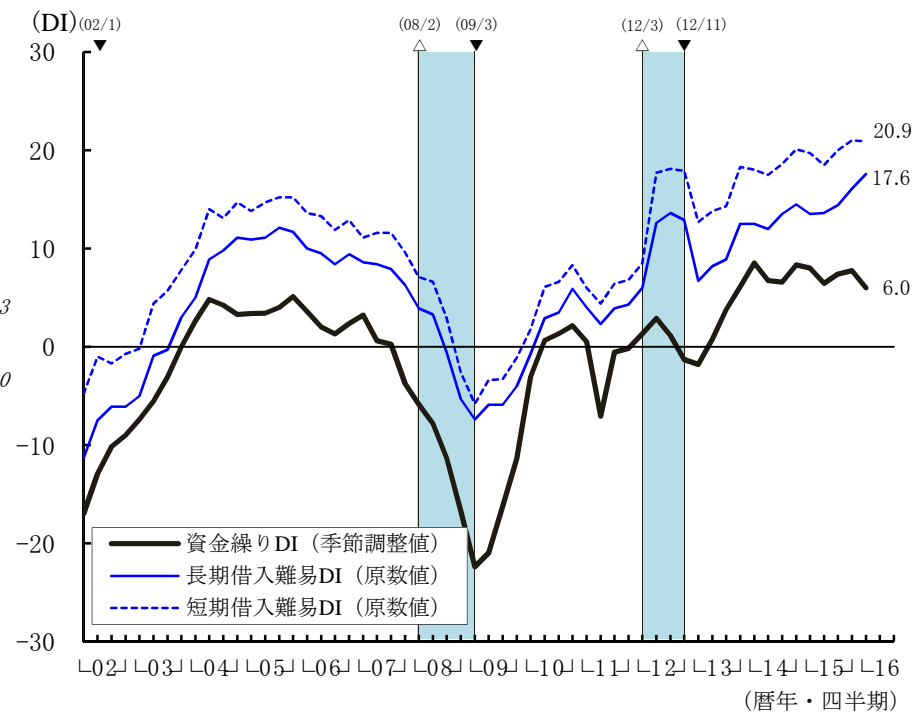
	2015/1-3	2015/4-6	2015/7-9	2015/10-12	2016/1-3	2016/4-6	2016/7-9
販売価格DI	6.5	6.1	4.2	1.3	▲2.8	▲3.9	▲3.0
仕入価格DI	47.7	45.1	34.9	24.6	9.2	8.2	10.3



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（原数値）。
2 図中の数字は今期実績および見通し（斜体）の値を示す。

図－7 金融関連DIの推移

	2015/1-3	2015/4-6	2015/7-9	2015/10-12	2016/1-3
資金繰りDI（季節調整値）	8.0	6.4	7.4	7.8	6.0
長期借入難易DI（原数値）	13.5	13.6	14.4	16.1	17.6
短期借入難易DI（原数値）	19.7	18.5	20.0	21.0	20.9



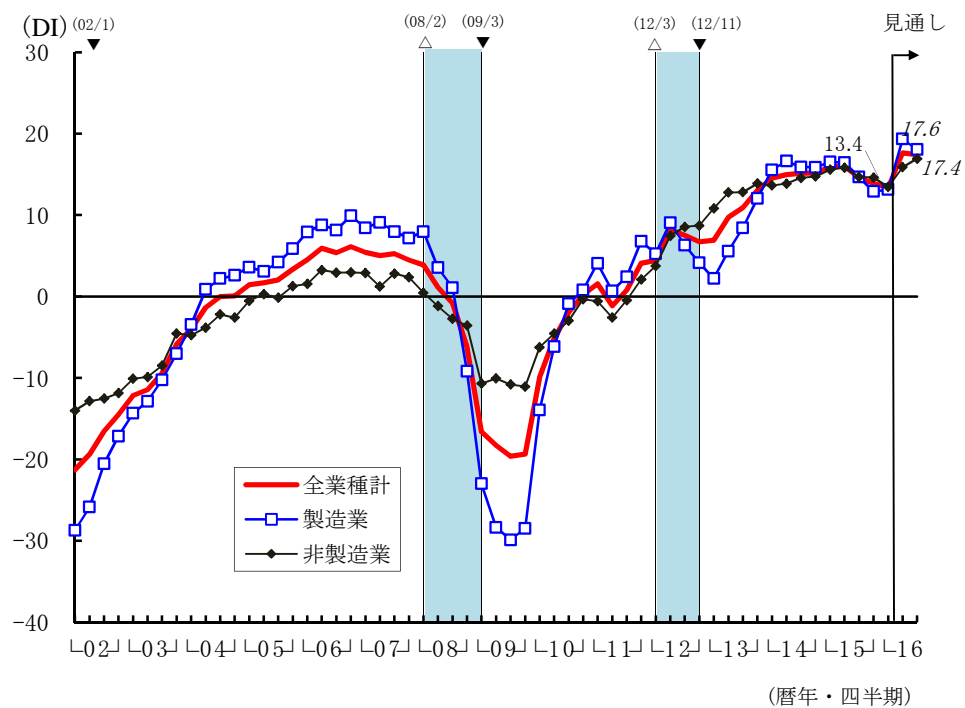
- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合（季節調整値）。
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合－「困難」企業割合（原数値）。
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは、前期から低下し13.4となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、37.4%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

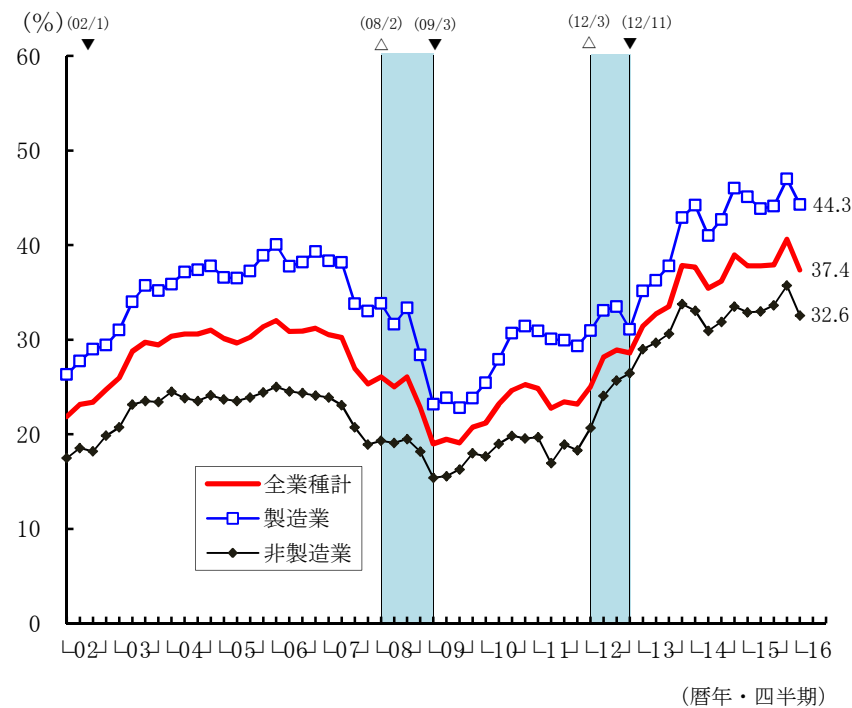
	2015/1-3	2015/4-6	2015/7-9	2015/10-12	2016/1-3	2016/4-6	2016/7-9
全業種計	15.9	16.0	14.6	13.9	13.4	17.6	17.4
製造業	16.5	16.4	14.7	12.9	13.1	19.3	18.0
非製造業	15.6	15.8	14.7	14.6	13.5	15.9	16.9



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2015/1-3	2015/4-6	2015/7-9	2015/10-12	2016/1-3
全業種計	37.8	37.8	37.9	40.6	37.4
製造業	45.1	43.9	44.1	47.0	44.3
非製造業	32.9	33.0	33.6	35.7	32.6



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」が40.3%と最も多く、次いで、「求人難」(26.3%)、「製品安や値下げの要請」(5.9%)となっている。
- 前回調査と比べると、「求人難」は2.2ポイント上昇した一方、「人件費や支払利息等の増加」は0.3ポイント、「原材料高」は2.4ポイント低下した。

図-10 経営上の問題点の推移

